

## 調査研究事業(施工部会) 2023年度事業実施計画

2022年度においては、2021年度に引き続き元請技術員・基礎工・組立工・架線電工の在籍実態ならびに中部管内の主要電工および主要基礎工・組立工の稼働率・繁忙期・閑散期の実態を把握した。

2023年度も引き続き高経年設備の改修・更新工事が高水準で施工されることから送電線工事施工のための技術・技能の継承や施工体制の維持確保が重要となる。

2022年度は、コロナの状況を確認して、施工部会を開催した。

2023年度は、出来る限り会議を開催し、調査ならびにフォローアップを実施していく。

### 2023年度 施工部会事業計画

#### ②施工部会

- ・ 中部管内に在籍する会員会社の工事現場稼働状況調査を継続的に実施
- ・ 元請技術員、架線電工、基礎工、組立工の在籍調査
- ・ 架線電工、基礎、組立工の稼働実績調査
- ・ 自主検査基準見直し後のフォローアップ
- ・ 標準施工安全計画書の追加・修正事項についてフォローアップ
- ・ 送研中部課題検討WGの検討案件のうち施工部会での検討・共有化対応  
計算プログラム共有化アンケート  
共有化案件（岩盤掘削用アタッチメントドリル、電子小黒板）  
ユタカコンサル製シューチェーン延線車のメンテナンスに関する意見募集
- ・ 中部電力パワーグリッド株式会社見直し事項などへの対応

(以下参考)

1. 元請技術員・電工・組立工・基礎工の在籍調査ならびに架線・基礎・組立作業員の稼働実績調査と分析

調査項目	調査頻度・時期	調査方法
① 元請技術員の在籍調査	年1回実施 (2023年10月)	送研本部実施の「技術員在籍調査」
② 鉄塔組立工の在籍調査		「高所作業員数調査」のデータから
③ 架線電工の在籍調査		中部支部在籍分抽出
④ 基礎工の在籍調査		中部支部会員会社に調査を依頼
⑤ 架線作業員の稼働実績調査	年4回実施 (四半期毎調査)	中部を拠点とする協力会社に元請を 経由して調査依頼
⑥ 基礎作業員の稼働実績調査		
⑦ 組立作業員の稼働実績調査		

2. 自主検査基準・標準施工安全計画書のフォローアップ

項目	見直し時期・内容
① 自主検査基準	運用後の改善要望等により、見直しをする
② 標準施工安全計画書	新工法の採用や改善要望等により、見直しをする

3. 見直しならびに追加検討対応

- ・ 伐採作業受注に関する対応について  
教育方法等、発注方法（業務委託、建設工事と同時発注）  
※NDSの教育実習内容の把握、実習用治具の検討

以上